

第七十六回
帝國議會
貴族院
留萌鐵道株式會社及新潟臨港開發株式會社
所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

特別委員會議事速記録第二號

昭和十六年二月十日(月曜日)午後一時四十分開會

○委員長(子爵秋田重季君) ソレデハ只今カラ特別委員會ヲ開會致シマス、前回ハ政府ノ御説明デゴザイマシタガ、今日ハ各委員ノ御質問ヲ願ヒタイト存ジマス、申シ遅レマシタガ、全部一括シテ議題ト致シマスカラ、ドウゾドノ點ニ付テモ御質問ヲ御願ヒ致シマス

○男爵久保田敬一君 先日私ハ主ニ貨物ノコトヲ伺ツタノデゴザイマスガ、茲ニ表ヲ出シテ下サイマシタガ、此ノ買收前後ノ運輸成績調ト云フモノニ付テ、チヨット今頂戴シタバカリデ分リニクイノデゴザイマスガ、チヨット之ヲ説明シテ貰ヘナイデセウカ

○政府委員(大山秀雄君) 買收前後運輸成績調ト云フ表ヲ御手許ニ差上ガテアルノデゴザイマスガ、昭和年間ニ買收致シマシタ二十四會社ニ付キマシテ、買收前ト買收後ノ旅客ナリ貨物ナリノ増加ノ實績ニ付テ其ノ割合ヲ出シテ見タノデアリマス、旅客ニ付キマシテハ人員ニ於テ七割一分二厘、延人「キロ」ニ於テ八割餘殖エテ居ルノデアリマス、貨物ニ付キマシテハ「トン」數ニ於テ五割五分近ク、延「トン・キロ」ニ於テ二倍ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ買收後ハ運賃其ノ他ノ關係カラ、人モ貨物モ殖エルノデアリマシテ、假ニ斯ウ云フ工合ニ今或地方鐵道ガ買收サレテ、同ジヤウナ割合ニ殖エタトシタナラバ、ドウ云フ結果ニナルデアラウカト云フコトヲ見マス爲ニ、

昭和十四年度ニ於ケル地方鐵道二百三十五線ニ付キマシテ、實績ヲ先ヅ見タノデアリマス、サウ致シマス、其處ニ數字ガアルノデアリマスガ、ソレニ上ノ旅客ナリ貨物ナリノ殖エ方ヲ掛ケテ見マス、其ノ結果買收後ト云フ欄ニアリマス數字ガ得ラレルノデアリマス、ソレデハ「キロ」當リノ省ノ運賃ヲソレニ掛ケテ見マス、數字ガ出マシテ、結局旅客ノ方面ニ於キマシテハ四割五分ノ、省並ミノ運賃ニ致シマシテモ増加ニナリ、貨物ノ方ニ付キマシテハ同ジヤウニ省ノ運賃ノ「トン・キロ」當リノ平均ヲ掛ケテ見マス、數量ハ非常ニ増シタニモ拘ラズ、運賃ニ於キマシテハ二割二分減ト云フ結果ガ現レタノデアリマス、併シ旅客貨物總テヲ合セマス、量ノ増加ノ爲ニ運賃ハ安クナルケレドモ、尙三割位ノ增收入ニナルト云フ風ノ數字ガ出テ居ルノデアリマス、ソレデハ是ハ急ギマシテ、唯大體ノ傾向ヲ捉ヘル一ツノ表ヲ作ツテ見タケデアリマシテ、鐵道ヲ買收致サレマシタヤウナ線ハ、多クノ場合建設線ニ關係ガアツテ、之ニ連絡シテ居リマス、トカ云フヤウナ、特ニ買收後人員ナリ貨物ナリガ非常ニ増シ易イ線ナノデアリマシテ、此ノ通りニ果シテ全國ノ地方鐵道ヲ買ヒマシタ場合ニ、數量ガ増スカドウカト云フコトニ付テモ、第一ノ疑問ガアルノデアリマスガ、何シロチヨット急ギマシタノデ、十分ノ檢討ガ出來ナカッタノデアリマス、大體ノ一ツノ考ヘ方ノ見本ダト云フ風ニ御覽置キヲ願ツタラ結構ダト思

フノデアリマスガ、更ニ斯ウ云フ問題ニ付キマシテハ、モウ少シ立入ッテ研究シテ見ナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○男爵久保田敬一君 無論斯ウ云フ御調ハ非常ニ詳シイ正確ナモノハ出ナイト思ツテ御願ヒシタノデアリマスガ、只今御説明ノ通りニ是ガ果シテドレダケノ正確サヲ持ツカト云フコトハ分ラナイト思ヒマスガ、之ニ依ツテモ明カナ如ク、政府ガ地方鐵道ヲ買收シナクテモ地方鐵道ガ國有鐵道並ミノ賃率ニナリ、又旅客ナリ貨物ノ遠距離遞減ト云フヤウナモノヲ認メラレルコトニナリマスレバ、非常ニ運賃ガ減ツテ來ル、此處ニ御調ニナツタ表ノ如キハ、旅客及貨物ノ調ニ依ツテ見マシテモ、賃率ガ非常ニ減ツテ來ルト云フコトハ明カナコトデアアルノデアリマシテ、只今御話ノヤウニ是ガ全國ニ色々ナ鐵道ガアルカラシテ、是ダケ殖エルカドウカ分ラヌト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、此ノ買收鐵道ニ類似スルヤウナ鐵道ガ可ナリ多クアルノデアリマス、今日ノ富士身延鐵道及白根鐵道ノ買收ニ付キマシテモ、其ノ外ニモマダ之ニ類シタ所ノ線ガアルノデハナイカ、ソレデアアルカラシテソレヲ政府ガ早ク買收シタラ宜イダラウト云フヤウナ説ガ可ナリアルノデアリマスガ、ソレハ詰リ買收ニナリマスレバ、線路ガ良クナルトカ云フヤウナコトヲ外ニシマシテモ、賃率ガ下ル、運賃ガ非常ニ安クナルト云フコトガ地方民ヲ潤ス大眼目ニナルト思フノデアリマス、外ノ鐵道ニ關シマシテモ、買收スルコトニナレバ非常ニ公債モ要シマスルシ、財源ニモ苦シメラレルコトト思ヒマスガ、此ノ地方民ニ對スル所ノ運賃ノ低減ト云フコトノ恩惠カラ考ヘマス、或ハ是モ國家トシテ大イニ考ヘベキコトデヤナイカト思フノデアリマシテ、若シ買收ノ爲ニ必要ナル所ノ財源ガナイトスルナラバ、買收シナイデサウシテ何トカシテサウ云フ風ナ恩典ニ浴サセル方法ハナイデアラウカ、例ヘバ此ノ只今ノ表ノ旅客ノ方ニ付テ見マスレバ、賃率ハ非常ニ下ツテ居ルケレドモ、輸送量ガ非常ニ殖エテ居ル、輸送量ガ倍ニモ殖エテ居ル、サウシマス、其ノ全體ノ運賃ト云フモノモ亦四割五分モ増シテ居ルト云フヤウナコトガアリマスカラシテ、一々ノ鐵道ニ付テ御調ニナツタラバ、或ハ其ノ會社ニ於テ輸送量ガ殖エル爲ニ賃率ハ減ツテモ、餘リ損害ニナラナイコトガアルカモ知レナイ、又假令ソレガ會社ニ非常ニ影響ヲ及ボスヤウナコトガアレバ、政府ガソレヲ何トカシテ見テヤル、サウシテソレヲ買收スル所ノ公債ノ利子等カラ考ヘテ見レバ、多少ノ補助モヤレルト云フコトデアアルト思ヒマスカラシテ、ソレヲ見テヤル、サウシテ見テヤツテ買收シタト同ジヤウナ結果ヲ地方民ニ來ス方ガ宜イノデヤナイカト私共ハ考ヘラレルノデアリマスガ、鐵道大臣ハ如何、サウ云フ御考ハゴザイマセヌカ

○國務大臣(小川郷太郎君) 此ノ私設鐵道ヲ買收スルコト云フコトハ、大規模ニヤッタラドウカト云フ意見ガアリ、今度ノ案ハ四ツ

ノ鐵道ヲ買收スルト云フコトヲ提案シタノ
デアリマスガ、之ヲヤル位ナラバ、モット外
ニモアルデヤナイカ、御尤モデアリマシテ、
實ハ此ノ案ヲ提出スル前ニ、モット外ノ線モ
併セテ買收シテ見ヨウカト云フ考モ持テ見
タノデス、處ガ私設鐵道ヲ多ク買收スル
コトニナレバ、公債ノ額ガ多クナツテ來マ
ス、公債ノ額ガ多クナルト、大藏省トモ……
大藏省ノ公債政策ト云フモノト調和シナイ
ト云フコトニナル、斯ウ云フコトニナリマス
ノデ、サウスルト云フト、買收スルト云フ角
度ノミカラ此ノ問題ハ解決ガ出來ナイ、サウ
云フヤウナコトニナリマス譯デアリマス、ソ
コデ其ノ買收線ヲ決定スルニ、從來ノ方針ハ
別ニ變リアリマセスガ、即チ建設工事に必要
ナモノトカ、或ハ國有鐵道ノ運輸連絡上必要
デアルトカ、或ハ軍事又ハ産業上必要アリ
ト認ムルモノト、斯ウ云フ中カラ選定スル
ト云フ方針ハ變リマセスガ、ソレニ特ニ時
局ニ鑑ミマシテ、生産力ノ擴充ト云フヤウ
ナコトヤラ、或ハ海陸連絡ニ必要デアルト
云フヤウナ、サウ云フヤウナ點ヲ最モ考慮
シテ、ソレデ買收鐵道ヲ選定シタ、或ハ借
入經營ヲシテ居ルモノヲ此ノ際一ツ取り上
テ行クト云フヤウナ所デ、公債政策ノマア
程度論、公債ヲ幾ラ發行スルカト云フコト
ノ程度ト睨ミ合セテ斯ウ云フコトニシタ譯
デアリマス、ダカラ公債政策ガウマク調和
出來ルモノナラバモット餘計ニ私設鐵道ヲ
買收スルト云フコトモ私共カラ言ヘバ敢テ
辭スル譯デハナイノデアリマス、何處ガソ
レデハ公債政策ノ調和點アルカト云フコ
トニナレバ意見ガ色々アラウト思ヒマスガ、
今回ハ此ノ限度ト云フコトニ決ツタ譯デア
リマス、ソレカラ今後ニ於キマシテモ何レ

議會毎ニ同ジヤウナ問題ガ繰返サレテ、公
債政策ト睨ミ合セテ買收スルモノヲ決メ
ト云フコトニナルダラウト豫想シテ居リマ
ス、次ニ買收シナクツテモ結果ガ同ジヤウ
ニナルヤウナ方法ニ付テノ御尋ガアツタ
ヤウデアリマスガ、此ノ問題ニ付テハ一ツ
政府委員ノ方カラ御答ヲシテ貰ヒマス
○政府委員(大山文雄君) 買收ト同ジヤウ
ナ效果ヲ舉ゲル外ノ方法ヲト云フヤウナコ
トモ大イニ研究シナケレバナラヌコトダト
思フノデアリマスガ、其ノ一ツノ方法ト致シ
マシテ借入ヲ先ニ二年程前ニヤリマシテ、
御承知ノヤウニ富士身延ト白棚ト兩鐵道ヲ
借上ゲテ見タノデアリマスガ、是ハ借入ニ
依リマシテ國有鐵道ト同ジ運輸ヲヤリマス
爲ニ運費ガ非常ニ低減サレ、大體モウ半額
トナルノデアリマスガ、非常ニ地方ノ利便
ヲ増シ、産業ノ爲ニ貢獻シタノデアリマス、
併シ富士身延モ白棚モ共ニ借入前ニ較ベマ
スト、旅客、貨物ヲ一緒ニシテデアリマス
ガ、大體借入前ノ三倍ノ數量ニナツテ來タ
ノデアリマス、サウナリマスト輸送力ニ付
キマシテモ色々ノ支障ヲ來ス、ソレデ改良
工事ナリ何ナリヲ思ヒ切ツテヤラナケレバ
ナラスヤウナ状態ニ迫ツテ來タノデアリマ
スガ、處ガ借入ニ依リマストドウシテモ所
有權ハマダ向フニアルモノデアリマスカラ
自由ニ手ガ附ケラレマセヌノデ、兎角サウ
云フ改善ガ思フニ任セヌノデアリマス、サ
ウ云フ風デ此ノ度先ヅ借入ヲ止メテ、買收
ノ方ニ變ツテ來タ譯デアリマスガ、サウ云フ
二ツノ實例ガ示サウニ、借入ト云フモノ
ハ結局或時期ニ於テ輸送量ガ殖エテ、其ノ
借入ノ效果ヲ發揮スルニ連レテ其ノ借入ノ
不便ト云フモノガ現レテ來ルト思フノデア

リマス、ソレデ借入ト云フモノハ差當リハ
非常ニ宜イガ、長イ策デハナイト云フヤウ
ナ氣持ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ
尙一ツノ方法トシマシテハ、我々能ク聞カ
サレルノデアリマスケレドモ、會社線ト省
トガモウ一體ニナツタヤウナ、一本道ニシテ
シマツテ、サウシテ遠距離遞減ナリ何ナリヲ
適用シテ、後デ運費ノ確保方法ヲ考ヘタラ
宜イデヤナイカト云フ考ヘデアリマス、
是モ頗ル考ト致シマシテ面白イト思フノデ
アリマスガ、此ノ遠距離遞減ニナリマス、
會社線ハ非常ニ短イノガ常デアリマシテ、
殆ド實際ノ分ケ方ニ致シマス會社ノ取り
分ト云フモノガ殆ド無クナツテ來ルト云フ
場合ガ起ルノデアリマス、ソレデ其ノ分割
方法ノ研究ト云フコトガ餘程困難ナ……研
究ハ大イニヤラナケレバナリマセスガ、餘
程ノ研究ヲ要スル問題ダト思ハレルノデア
リマシテ、ナカノ此ノ制度モ、直グニ實
行ト云フコトニハ運ビ難イト思フノデアリ
マス、大體把ニ申上ゲマスト、地方鐵道ノ
一「トン」ノ運費ハ、十四年度ノ實績ニ依ツテ
見ルト、三錢八厘ニナツテ居リマス、ソレカ
ラ省線ノ一「トン」ノ運費ハ一錢四厘八毛、一
錢五厘近クニナツテ居ルト記憶致シテ居リ
マスガ、大體社線ハ一「トン」ニ付省線ノ運
賃ノ二倍半ニナツテ居ルノデアリマス、ソレ
デ細カイトニナルト、誤差ガアリマセウガ、
大體省ト同ジヤウナ運費デアルト致シマス
ト、會社線ノ數量ガ二倍半ニソレニ依ツテ
殖エナイト、同ジ收入ガ入ッテ來ナイト云
フヤウナ計算ニナルト思フノデアリマス
ガ、是ハ先ヅ平均シタ見方デアリマシテ、
個々ノ鐵道ニ付テ考ヘマスト云フト、又
非常ニ其ノ大勢ト違ツタモノガ出デ來ルト

思フノデアリマス、ソレデ色々考ヘマシ
テ、大體借入ダトカ、省社ノ通シ運費ノ
問題ダトカ云フヤウナコトガ考ヘラレ
ルト思フノデアリマシテ、尙今後共
斯ウ云フ問題ニ付キマシテ、研究ヲ續ケマ
シテ、本當ニ良イ案ガ見ツカリマシタナラ
バ、ソレニ依ツテ物資ノ輸送ノ助ケヲ致シ、
地方ノ發達ノ爲ニ貢獻スルヤウナ案ヲ見
出スコトガ出來タラト望ンデ居ル所デアリ
マス、大體只今迄考ヘテ居リマスコトヲ申
上ゲテ、御答ト致シマス
○男爵久保田敬一君 大體御話ハ分リマシ
タガ、此ノ表ニ書イテアリマス、昭和年間ノ
買收鐵道二十四社ノ「買收前」ト「買收後」ト
書イテアルノハ買收後ノヤツハ省線ノ賃率
デアツテ、遠距離遞減モ全部入ッテ居ルノダ
ト思ヒマスガ、サウ承知シテ宜シイノデア
リマスカ
○政府委員(大山秀雄君) ソレハ先ニ申上
ゲマシタヤウニ、省ノ「トン」當リノ平均ノ運
賃ヲ其ノ數量ニ掛ケタノデス、ダカラ遠距
離遞減ノ結果ト云フモノモ含マレテ入ッテ
居ルノデアリマス
○男爵久保田敬一君 サウシマスルト結局
ソレニ依ツテ推算シテ、下ノ方ニ書イテアル
所ノ地方鐵道全部ヲ買收シタ後ニ、旅客ニ
於テ四割五分二厘ノ增收ガアリ、貨物ニ於
テ二割二分ノ減收ガアルト云フノモ、遠距
離遞減トカ、賃率ノ差ガアルト云フコトヲ
全部考ヘテ入ッテ居ルノデアルカラシテ、之
ヲ全體ノ額ヲ寄セテ見タラドウナルカ知リ
マセスガ、旅客及貨物ヲ寄セテ見レバ、今
ノ社線ノ、省線ト直通出來ルヤウナ所ノ線
ノ全部ヲ省線ノ運費ニシテ、サウシテ遠距
離遞減ノ恩典ニ浴セシメタ處デ、社線ノ收

入ト云フモノハサウヒドク減リハシナイト
云フヤウナ感シガスルノデアリマスガ、若
シサウ云フコトデアリマスレバ、若シ減ツタ
トシテモ極メテ僅カノ補助トカ助成ヲヤツ
テ、サウシテ省線並ミノ賃率ニ下ゲルコト
ガ出來ルト云フヤウニ、ヒヨット思ハレルノ
デアリマスガ、實際如何デゴザイマセウカ
○政府委員(大山秀雄君) サウ云フ結論ニ
一應ナルノデアリマスガ、先ニチヨット申上
ゲマシタヤウニ、此ノ買收鐵道ト申シマス
ノハ、割合路線ノ系統其ノ他ガ良イモノガ
含マレテ居リマスノデ、果シテ是ガ全地方
鐵道ニ此ノ增收割合ト云フモノヲ適用シ得
ルカドウカ、ト云フコトハ餘程問題ダト思
ヒマス、ソレト又一面ニ於テ是ガケ殖エル
ト致シマシテ、所ニ依ッテ個々ノ地方鐵道ニ
於テハ、改築ト云フ問題モ起ッテ來ル場合ガ
アルダラウト思フノデゴザイマシテ、大體
ノ傾向ハ此處ニ現レテ居ルノデアリマスガ、
餘程是ハ大擱ミナ見方デアリマスノデ、果
シテ之ニ依ッテ考ヘテ間違ガナイカ、尙一
層ノ研究ヲシナイトイケナイノデアナイカ
ト思ヒマス

○男爵久保田敬一君 御話ハ能ク分リマシ
テ、個々ノモノニ付テ考ヘテ見ナケレバ分
ラナイト私モ思ヒマス、處方鐵道敷設法ニ
依リマス、日本ノ鐵道ト云フモノハ國有
ヲ原則トシテ居ル、地方鐵道ハ地方交通ノ
便ニ供スルモノノミヲ施設ヲ許スト云フコ
トニナッテ居ルノデアリマシテ、ソレデ諸
地方鐵道ノ名ガアル所以ダト思フノデアリ
マスガ、サウナッテ來マスト、地方ノミノ旅
客貨物ニ對シテハ地方鐵道並ミノ賃率ヲ掛
ケテモテットモ構ハナイケレドモ、其ノ國有
デアルト云フコトノ原則カラ致シマスレバ、

地方鐵道ト雖モ地方交通デナイ所ノ全國、
詰リ先程申シマシタ遠距離ノ旅客貨物ニ對
シテハ、是ハ國ガ世話スベキモノデアッテ、
國有並ミニ取扱フノガ其ノ國有鐵道ノ精神
デハナイカト思フノデアリマスカラシテ、
サウ云フ點カラモ御考ニナッテ、先程私ガ申
上ゲマシタヤウニ、地方鐵道ノ賃率並ミニ
遠距離遞減等ヲ國有鐵道並ミニシテヤルト
云フコトニ付テハ深ク御研究ヲ願ヒタイト
思ヒマス、私ノ質問ハ此ノ程度デ終リマス
○委員長(子爵秋田重季君) 他ニ御質問ハ
ゴザイマセヌカ

○橋本辰二郎君 此ノ買收價格ハ協定ニナ
ルト云フコトデアリマスルガ、大抵此ノ案
ヲ御提出ニナル前ニ會社トノ間ノ協定ハ
成立シテ居ルモノト思ヒマスガ、御差支ナ
イ限りニ於テ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(大山秀雄君) 留萌鐵道ト新潟
臨港ノ方ハ地方鐵道法ニ依ッテ買收スル譯
デアリマシテ、其ノ地方鐵道法ノ規定ニ依
リマス、過去三年間ノ營業成績ヲ見マシ
テ、其ノ平均ノ益金ヲ二十倍シタモノデ買
フコトニナッテ居リマス、ソレガ建設費ト睨
ミ合セテ、建設費ニ及バナイ時ニハ建設費
ヲ一ト見マシテ、今申上ゲマシタ益金還元
方法ヲ實行致シテ居ルノデアリマス、會社
ノ協定書ノ中ニ、買收價格ニ付テハ協定ス
ルト云フコトガ書イテアリマス中ニハ、其
ノ建設費一、益金還元一ヲ合セテ、二デ割
ルト云フノガ、建設費以內ニナッテ時ノ協
定方法ノ一ツト致シマシテ、茲ニ長ラクノ
間行ハレテ居リマスノデ、其ノ協定ノ内容
ハサウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、
ソレデ留萌ニ付テ考ヘマスト、留萌ノ臨港

線ハ大體五分チヨット起シテ居リマスノデ、
二十倍致シタモノガ建設費ヨリモ上ニナリ
マス、從ッテ協定ノ必要ガ實ハナイノデア
リマス、大體建設費ヨリモチヨット上廻ツタ
買收價格ニ落付クモノト思ッテ居リマス、ソ
レカラ新潟臨港ノ方ハ益金還元ガ建設費以
下ナノデアリマスノデ、先ニ申上ゲマシタ方
法ニ依リマシテ計算ヲ致シ積リデアリマス、
ソレカラ富士身延鐵道ト白根鐵道、此ノ二
ツハ二年間省ヘ既ニ倍上ゲテ經營致シテ居
リマスノデ、會社自體ノ營業成績ガナイノ
デアリマス、ソレデ何カノ方法ヲ以テ此ノ
買收價格ヲ出サナケレバナラヌト云フノ
デ、色々考ヘマシテ、ソレデ大體建設費以
內ニ於テ協定スルト云フ取極ハ致シタノデ
アリマスガ、更ニ其ノ建設費以內ノ取極ニ
付キマシテ實ハ內協議ハ致シテ居ルノデア
リマス、其ノ方法ニ付テ御話申上ゲマスト、
大體ヤリ方ニ付テ御話申上ゲタイト思フノ
デアリマスガ、借上ゲマス前ノ會社ノ成績
ガアリマスカラ、ソレヲ見マシテ其ノ成績ヲ
基本トシテドウ云フ風ナ、是ガ省ニ借上ゲテ
居ナカツタラバ收益ヲ増シタデアラウカ
ト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレニハ
他ニ據ルベキモノガナイノデアリマスルカ
ラ、全國ノ地方鐵道ノ三「フイート」六「イン
チ」ノモノヲ採リマシテ、其ノ總テノモノノ
增收割合、價格ノ増加割合ト云フヤウナモ
ノヲ、其ノ一般ノモノニ付テ見タノデアリ
マス、ソレヲ富士身延ノ過去ノ實績ニ増加
割合ヲ掛ケマシテ、サウシテ益金ト云フモ
ノヲ推算致シタノデアリマス、サウ致シマ
シテ三年間ノ益金ヲ各「出シマシテ、ソレニ
依ッテ地方鐵道法ニ依ル計算方法ヲ準用致
シマシテ、計算致シテ大體協定致シタノデ

アリマス、其ノ金額ヲ申上ゲマスト、富士
身延ハ千九百九十九萬圓ノ建設費デアリマ
スガ、其ノ建設費以下ノ千九百萬圓デ話ガ
付イテ居リマス、白根ニ付キマシテハ大體
ノ考ヘ方ハ同ジヤウナ風ニヤツタノデアリ
マスガ、此ノ白根鐵道ノ建設費ハ七十五萬
圓チヨット切レテ居ルノデアリマスガ、同ジ
ヤウナ考ヘ方ニ基イテ計算致シマシテ、六
十萬圓デ協定ヲ內々致シテ居ルノデアリマ
ス

○橋本辰二郎君 此ノ田名部鐵道ハ補償ト
云フコトニナッテ居リマスガ、之ニ並行スル
田名部カラ大間崎間ノ省線ハモウ竣工シテ
居ルノデスカ

○政府委員(倉田玄二君) 只今御話ノ田名
部ノ軌道ニ並行シテ居リマス省線ハ大畑迄
既ニ開業シテ居リマス

○橋本辰二郎君 此ノ田名部鐵道ノ補償金
額ハ、幾何デアリマスカ

○政府委員(大山秀雄君) 是ハ六萬五千圓
位ニナルト思ッテ居リマスガ、是ハ小サイ軌
道ナノデアリマスガ、從來一割配當ヲ致シ
マシテ、一割五分程度ノ建設費ニ對スル益
金ヲ上ゲテ居ッタノデアリマス、ソレデ確カ
建設費ハ三萬四千圓位ナ小サナモノデアリ
マスガ、以前ノ成績ガ非常ニ良カッタモノ
デアリマスカラ、割合ニ致シマス金額ガ
多クナッテ居リマス

○橋本辰二郎君 是ハ補償デアリマスカラ、
會社ノ所有ニ屬スル總テノ物資ハ會社デ勝
手ニ處分スルノデアラウト思ヒマスガ、其
ノ金額ハ軌條及機關車其ノ他ノモノ、又建
設物等ヲ入レマスト相當ノ金額ニ上ルノデ
アラウト思ヒマシテ、今此ノ參考書ヲ見マ
スト資本ガ四萬六千圓、借入金三萬三千圓

デ、約八萬圓デゴザイマスネ、此ノ内六萬五千圓交付ニナレバ一萬五千圓ダケガ會社ノ負擔ニナル、此ノ軌條其ノ他ノ物モ近來非常ニ騰ッテ居リマシテ、此ノ會社ハ解散ニ依ッテ相當ニ利益ヲ收メルコトニナルヤウニ思ハレマスガ、左様デアリマスカ

○政府委員(大山秀雄君) 是ハ補償デゴザイマスカラ物ハ會社ノ方ニ殘ル譯デゴザイマスガ、實ハ物ト申シマシテモ馬車鐵道デアッタモノデスカラ大シタ物モナイノデゴザイマスガ、主ナ金目ノ物ト致シマシテハ、「レール」ダト思ヒマス、處方此ノ「レール」ガ今軍ノ方ヘ借上ゲテ、其ノ「レール」ヲ借上ゲ使用申ナノデアリマシテ、處分ガ出來ナイノデアリマス、ソレガ濟ミマスナラバ此ノ「レール」ガ賣レマシテ、實際ニ殘存物ノ價格ガハッキリ致スノデアリマスガ、今ソレヲハッキリスルコトガ出來マセスノデ、愈、金ヲ渡シマス迄ニハ其ノ點ハハッキリサセタイト思ッテ居リマス、從ッテ補償金ノ額ヲ凡ソ此ノ位トサツキ申上ゲタ次第デアリマス、ソレカラ又モウ一ツ案外サウ云フ物ガアルニ拘ラズ殘存物ノ値ノ引キ方ガ少イノデヤナイカト云フ御考ガ出ルト思ヒマスガ、是モ亦特種ノ事情ガアリマシテ、此處ニアリマス道路、馬鐵ヲ敷イテ居リマス道路ガ相當、俗ニ軍港路ト云ッテ居リマスガ、田舎ニ致シマシテハ相當立派ニ一部鋪裝シテアル道路デアリマス、從ッテ道路ノ上ニ「レール」ヲ敷イデアリマス、ソレヲ取ッタ跡ノ穴ヲ埋メマス費用ガ相當掛ルノデアリマス、ソレデ「レール」其ノ他ヲ賣リマシテモソレニ相當取ラレマスノデ、從來サウ云フ道路ノ補償ト云フヤウナモノモ、物ヲ賣ッ

タ値打カラ引クコトニ致シテ居リマスノ

デ、實際引ク値打ガ少イト云フ結果ガ現レト思フノデアリマス、サウ云フ色々ノ事情ノアリマスコトヲ御話致シマシテ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○橋本辰二郎君 御話ニ依リマス縣道ノ上ニデモ敷設シデアリマスノデスカ

○政府委員(大山秀雄君) 國道カ縣道カ、ハッキリ記憶シテ居リマセスガ、俗ニアノ邊デハ軍港道路ト云ッテ居リマス、相當町ノ附近ハ鋪裝ナンカヤツテ居リマシテ、立派ナ道ナンデアリマス

○男爵久保田敬一君 其ノ今ノ田名部軌道ニ關聯シマシテ、少シ離レルノデアリマスガ、伺ヒタイト思ヒマスノハ省線ノ野邊地カラ出テ居ル線ガ大間迄行キマス、此ノ線ヲ北海道迄延バスト云フ御話デスケレドモ、海底隧道トスルト、本州ト北海道トノ海底連絡ガ出來ルト思フノデアリマス、青森ト函館ノ間ハ今六十「マイル」程アル、ソレカラ大間カラ北海道ノ何ト云フ岬デアリマスカ、一番近イ岬迄ハ約二十「マイル」、三十「キロ」位ト思ヒマスガ、鐵道省ハ只今ヨク新聞デ拜見シマス關釜隧道ト謂ッテ、二百餘「キロ」モアルヤウナ隧道計畫モナサイマセスケレドモ、考ヘテオイデノヤウデアリマスガ、此ノ大間カラ北海道ニ拔ケル所ノ隧道ガ出來レバ、若シ關釜隧道ヲ御計畫ニナルナラバ、是モ御計畫ニナル線デハナイカト思ヒマス、之ヲ若シ海底連絡ガ出來レバ、關釜ヨリモ輸送量ガ非常ニ多イシ、又國防上ニ於テモ非常ニ利益ニナルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ御計畫ニ對シマシテ如何ナル御考ガアリマスカ、鐵道省竝ニ北海道ノ關係ノ方カラ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(倉田玄二君) 只今御話ノ大畑線ノ先ノ大間カラ北海道ニ至ル一番近イ所ハ戸井線ノ近所ダト思ヒマス、隧道ヲ掘ル考ハナイカト云フ御話デアリマスガ、實ハ此ノ線ノ大間ト云フ所ヘ築港ノ計畫モアルヤウデアリマス、鐵道省ト致シマシテ、此ノ大間カラ此ノ線ヲ造ッテ、北海道ト連絡シテハドウカト云フコトニ付テハ多少研究ガサレテ居ルノデアリマスガ、隧道ニ付キマシテハマダ考ヘテ居リマセス、ソレハ結局隧道ニ先行スルモノガ船ノ連絡ト云フヤウニ考ヘマスノデ、船ノ方ニ付テハ多少研究ガ進メラレテ居リマス、從ッテ隧道ニ付テハマダ考ヘテ居ラナイ、斯ウ云フノデゴザイマス

○政府委員(鈴木清藏君) 只今北海道ト青森トノ連絡ニ付キマシテ御質問ガアリマシテ、鐵道當局カラ御話ガゴザイマシタノデ、北海道ト致シマシテハ内地トノ連絡ヲモウ少シ完璧ニシテ貫ヒタイト云フ希望ガアルノデアリマス、私共ト致シマシテモ、例ヘバ只今ノ大間ノ地點カラ室蘭ノ方ヘノ汽船ノ連絡ト云フヤウナ點ニ付キマシテモ考究中デゴザイマス、何レ鐵道當局トヨク連絡ヲ執リマシテ、モウ少シ連絡ヲ頻繁ニ致シマシテ、貨物ノ輸送其ノ他ニ付キマシテハ萬全ヲ期シタイト思ヒマス

○男爵久保田敬一君 先程申上ゲマシタヤウニ下關ト釜山ト結ブト云フヤウナ計畫ガアツテ、是ハ内地ト大陸トノ連絡上非常ニ必要デアルト云フノデ、其ノ聲ヲ大キクシテ叫バレテ居ルノデアリマシテ、鐵道省ニ於テモ調査ナリ、研究ナリサレテ居ルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ計畫ガアルトスレバ、若シソレガ可能ダトスレバ、此ノ大間ト北海道ヲ結ブ如キハ其ノ十分ノ一シカナイ

距離ナノデアリマスカラ、極メテ簡單ト云フコトハアリマセスガ、ソレニ比スレバ容易ニ出來ルコトダト思フノデアリマス、若シ此ノ隧道ガ出來タトスレバ、北海道トシテハ非常ナル利益ヲ受ケル、又日本ノ國トシテモ北海道ガ内地ト陸續キニナルト云フヤウナコトデ以テハ寧ロ私ハ下關ト釜山ヲ結ブヨリモ、之ヲ結ブ方ガ國ノ利益カラ言ッテモ大キクハナイカト思フ位デアリマスガ、此ノ下關ト釜山ニ付テハ非常ニ熱心ニ之ヲ促進スベシト云フ所ノ議論ヲシテ居ル者モアルケレドモ、北海道ト内地ヲ結ブ所ノ隧道ニ付テハマダ何等ノサウ云フ意見ガナイノデアリマシテ、北海道ニ御關係ノ方ハ特ニ其ノ點ヲ御注意ニナッテ、下關ト釜山ヲ結ブ所ノ隧道ガ出來ルナラバ、其ノ前ニ北海道ヲ結ブ所ノ隧道ヲ造ッタ方ガ宜シイ、是ハ或ハ技術上カラ申シマシテモ關釜隧道ノ稽古臺ト申シマシテハ甚ダ惡イノデアリマスケレドモ、其ノ經驗ヲ積ム上カラモ宜イト思フ、技術上カラ考ヘマシテモ、又北海道ノ開發上カラ見テモ、國ノ國防上カラ見テモ重大ナ問題ト思フノデアリマスカラ、斯ウ云フコトニ付テハモウ少シ熱心ニ北海道ノ方デモ御研究ニナッテ、サウシテ大イニ輿論ヲ起スナリ、又鐵道當局ト御相談ニナルナリナサツテ、少クトモ關釜隧道ガ出來ル位ナラバ、此ノ隧道ハヤラナケレバナラヌト云フヤウナ心持デ以テヤツテ参リタイト私ハ思ッテ居ルノデアリマスガ、只今ノ御答辯デハ私ハ少々失望シタト云フコトヲ申上ゲテ質問ヲ終リマス

○委員長(子爵秋田重季君) 他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ

○男爵久保田敬一君 先程買收鐵道ニ關シ

テ、少クトモ關釜隧道ガ出來ル位ナラバ、

此ノ隧道ハヤラナケレバナラヌト云フヤウ

マシテ、鐵道大臣カラ公債財源ノコトニ付テ御話ガゴザイマシタ、之ニ關聯シテ伺フノデアリマスガ、是ハ私ハ非常ニ素人デ、財政通ノ鐵道大臣ノ教ヲ請ヒタイト思ッテ伺フ譯デアリマス、毎年鐵道特別會計カラシテ一般會計ナリ、臨時軍事費ニ益金繰入ト云フモノガアルノデアリマスガ、是ハ私ハ甚ダ不可解ナコトダト思ッテ居ルノデアリマシテ、私ノ知ッテ居ル範圍ニ於テハ、鐵道省ノ從業員三十三萬ノ人ハ一齊ニ之ヲ不可解ナモノダト思ッテ居ルノデアリマスカラシテ、茲ニ伺フ次第デアリマスガ、此ノ一體益金ヲ一般會計ニ繰入レルトカ、臨時軍事費ニ繰入レルト云フコトハドウ云フ意味デアルカ、私ニハ能ク分ラナイノデアリマシテ、鐵道ノ益金ト申シマスノハ如何ニモ益金デアッテ、會社ノ利益金ノ如ク利益ニナタト云フヤウニ思ハレルノデアリマスガ、是ハ豫算ヲ見テモ分リマスヤウニ、鐵道ノ益金ハ即チ收益勘定ノ益金ハ資本勘定ノ歳入デアッテ、サウシテ、ソレニ依ッテ資本勘定ノ改良費ナリ、建設費ヲ賄ッテ居ル譯ダラウト思フノデアリマシテ、殊ニ從來ノ如ク其ノ益金ヲ以テ賄ッテモマダ足りナイデ、公債ヲ募集シテ資本勘定ノ歳入トシテ居ル場合ニ、之ヲ鐵道省ノ剩餘金ノ如ク見テ、サウシテ一般會計ナリ又臨時軍事費ニ繰入レルト云フノハ誠ニ不思議ナヤウニ思フノデアリマス、本年ノ如ク繰入金ガ六千萬圓デアッテ、公債募集ガ四千五百萬圓デアレバ、一千五百萬圓ダケノ餘裕ヲ生ジテ居ルト云フコトガ出來ルデアリマセウガ、ソレニシテモ此ノ六千萬圓ノ繰入金ト云フモノハ結局鐵道ガ公債ノ利子ヲ負擔シテ、サウシテ一般會計ナリ又臨時軍事費ニ流用シテ居ルヤウナ形ニナッデ

居ルノデアリマシテ、片方ニ於テ借金ヲシテ、サウシテ片方ニ拂フト云フノハ私等素人デ考ヘテ見ルト、親類ガ困ッテ居ルカラシテ借金ヲシテ貸シテヤラウ、其ノ借金ノ利子ダケハ俺ガ負擔シテヤラウト云フ風ニ考ヘラレテ、誠ニ不可思議ニ堪ヘナイト思フノデアリマスガ、殊ニ鐵道ノ特別會計ノ精神ト申シマス、是ハ鐵道ダケデ以テ不足ナシニ、又餘裕ナシニ賄フベキ性質ノモデアッテ、若シ本當ニ剩餘金デモ出ルト云フ場合ハ運賃ヲ下ゲルナリ、又ハソレヲ改良費ニ使フナリシテ、サウシテ鐵道ノ性能ヲ増スベキモノデアルト思フノデアリマスガ、今日ノ如ク借金ハスル、サウシテ改良費ハ足りナイ、現ニ方々ノ停車場ナドニ行ッテ御覽ニナッデモ分リマスガ、停車場ノ「ペンキ」ハ割ゲテ居ル、「レール」ハ非常ニ磨滅シタモノヲ使ッテ居ル、車輛モ木製ノモノガアルガ、マダ鋼製ニ出來ナイ、サウ云フヤウナ場合ニ之ヲドウシテモ臨時軍事費ナリ一般會計ニ繰入レナケレバナラスト云フコトハ、ドウモ私等ニ理解シ得ナイノデゴザイマスガ、其ノ點ニ付キマシテ殊ニ財政ニオ精シイ所ノ鐵道大臣カラ御話ヲ承レバ結構ダト存ジマス

○國務大臣(小川郷太郎君) 久保田男爵ノ御質問ハ御尤モト思ヒマスガ、今ノ財政ノ建方ト申シマスガ、或ハ豫算ノ編成方法ト申シマスガ、筋道ヲ別々ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、ソレヲ差引シテシマヘバソレデ宜イノデナイカト云フ考ヘ方モアルノデアリマスガ、會計ヲ明確ニスル爲ニ繰入ハ繰入、公債ノ發行ハ公債ノ發行ト二筋ニシテ居リマスノハ、畢竟サウ云フ會計ヲ明確ニスル考カラ來テ居ルノデアリマス、例ヘバ片方デ、鐵道バカリデハアリマセウガ、國ト致シマシテモ一方ニ公債ヲ發行シテ、ソレデ公債ヲ償還シテ居ル、左ノ方デハ公債ヲ發行スル、右ノ方デハ公債ヲ償還シテ居ルノデアルカラ、是ハ差引シテ公債ヲ發行シタラ宜イデヤナイカト云フ議論モアルノデアリマスガ、一方カラ言フト公債ヲ償還スルニハ法律モアリマスガ、公債ヲ發行スル當時ノ一種ノ約束ト申シマスガ、何年間ニ公債ハ償還スルモノダト、斯ウ云フモノガアルモノデスカラ、ソレヲ見デ、サウシテ償還ハ償還ヲシテ行クンダ、償還ニ付テハ途中ニ度合トカ歩合トカ、財政ノ必要ニ應ジテ縮メマシタリ、色々ノコトハアリマスガ、觀念上カラ言ヘバ此ノ償還ハ償還ヲヤッテ行ク、公債ノ發行ハ公債ノ發行ダ、差引シテ殘額ヲ發行スルノデナイ、此ノ建前ノ問題デアリマス、ソレト同ジヤウニ鐵道會計カラ一般會計ハ繰入レル、サウシテ鐵道會計ハ又公債ヲ發行スル、二筋ニナッテ居ルノデ、差引シタラ宜イデヤナイカト云フ考ハ御尤モデアリマスケレドモ、一方公債ノ發行ハ鐵道ノ建設改良ニ付テ此ノ益金ノ繰入、資本勘定ニ收益勘定カラ益金ヲ繰入レタ額、ソレガマア今久保田男爵ノ言ハレタ資本勘定ノ繰入歳入ニナッテ居ルノデ、ソレデ建設及改良ヲ自分デ出來ナケレバ、ソコニ公債ヲ發行スル、公債ヲ發行スル方ハサウ云フ建前カラ來テ居ル譯デアリマス、ソレカラ一般會計ニ繰入ルト云フノハドウ云フ建前デアルカト言ヘバ、是ハ今迄色々豫算編成ニ數年間アンナ風ニナッテ居リマスガ、今日ノ建前ハ御承知ノ通りニ臨時軍事費ノ特別會計ニ繰入レルト云フ譯デアリマシテ、即チ特別會計ガ今度ノ日支事變ニ付テ非常ニ國費ヲ費シテ居ル、ソレニ對シテ一般會計

ガ之ヲ支辨シテ居ルノデアリマスケレドモ、一般會計ノ繰入ニナリマセウガ、外ノ特別會計モ亦同ジヤウニ幾分カ一部負擔スベキデハナイカ、斯ウ云フ建前デ鐵道特別會計ニ限ラズ、他ノ特別會計ガ皆此ノ臨時軍事費特別會計ニ幾分カ繰入レマス、斯ウ云フコトニナッテ居リマスノデス、他ノ特別會計ガ臨時軍事費特別會計ニ繰入ラシテ居ルノニ、鐵道ダケガ獨リ之ヲヤラスト云フ譯ニモ參ラヌコトダト思フノデアリマス、ソレハ尙モウ少シ其ノ碎イテ私ハ通俗ニ言ッタラバ、臨時軍事費ト云フモノハ何デ賄ッテ居ルカト言ヘバ、今度ハ數字ハハッキリト致シマセウガ、ソレハ一般會計カラ入レテ居ル、アトハ特別會計ノ繰入ト、公債ノ發行デアリマスガ、其ノ一般會計ナンカモ大體ハ増稅ナンデスネ、増稅ノ或部分、全部トハ言ヘマセウカモ知レマセウガ、ソレヲ繰入レテ居ル、民間ノ人間ガ此ノ、戰爭ノ費用ノ一部ヲ分擔シヨウト云フノデ、税金ヲ餘計出シテ、サウシテ其ノ軍事費支辨ニ充テテ居ル、斯ウ云フ建前デアリマスカラ特別會計ト致シマシテモ、例ヘバ朝鮮、臺灣トカ云フヤウナ外地ニ於テモ、ソレダケノ或ル稼ギ、或モノヲ分擔シナケレバナラス、之ヲ若シ一般會計ガタッタ一ツデヤッタナラバ、矢張りサウ云フヤウナコトニナルダラウト思フノデス、ソレカラ鐵道モ是ガ若シ民間ノ事業團體デアッタトスレバ相當ノ税金、鐵道ノ收益ガ三億三千万圓モアルト假ニ致シマスレバ、之ニハ所得稅ナリ色々ナモノノ掛ル譯ナンデス、一般會計ハ當然取レルノデアリマスガ、ソレハ國ノ經營シテ居ル所デアリマスカラ、國家ガ自分ノ所有シテ

居ルモノニ、自分ノ經營シテ居ルモノニ稅
ノ掛ケルト云フコトハ自己課稅ト云フヤウ
ナ問題デ、ナイコトハアリマセスガ、例ハ
サウ云フ風ニアルノデアリマス、サウ云フ
コトモアリマス、ダカラ鐵道ガ經營シテ居
テ、多少一種ノ營業ト云フヤウナ形ハ一方
ニアアルノデアリマス、公益ノ仕事デアリマ
スケレドモ、營業ト云フヤウナ形モアルノ
デ、サウ云フヤウナモノガ此ノ臨時軍事費
ト云モノヲ幾分力支辨スル、分擔スル、斯
ウ云フ建前ハ公正ナル觀念カラ見マシテ當
然デヤナイカト云フヤウナ風ニモ考ヘラレ
ルノデアリマス、アレヤコレヤデ一應鐵道
特別會計カラ臨時軍事費特別會計ヘ繰入レ
ルト云フコトガ要求サレテ、サウ云フヤウ
ナ豫算ノ編成ノ仕方ニナツテ居ルノデアリ
マス、一方カラ一方ヲ差引ケバ宜イト云フ
御議論モ立チマスケレドモ、會計ヲ明確ニ
スルト云フ所カラサウ云フ風ニナツテ居ル
ノデアリマス、ソレカラ剩餘金ガアツタナラ
バ運賃ヲ下ゲテモ宜イデヤナイカ、是モ御
尤モナ話デアリマシテ、一ツノ會社經營ノ
モノデアッタラ當然サウ云フコトガ要求サ
レル譯デアリマス、鐵道ノ特別會計デ儲カ
レバ、收益ガ多クナレバナルダケ之ヲ一般
收益勘定カラ資本勘定ニ移シテ、今久保田
男爵ノ御指摘ニナリマシタヤウニ、改良建
設ヲヤルンダ、斯ウナル譯デアリマスガ、
ソレトモ折合ッテ運賃ヲ下ゲルト云フコト
モ考ヘラレマスガ、運賃ハ又運賃政策ト云
フモノモアリマセウカラ、其ノ角度カラ見
テ運賃ガ自然ニ決ル、畢竟スルニ若シ儲カ
タモノガ多クレバ建設改良ヲヤル、斯ウ云
フコトニナルダラウト思フノデアリマス、
其ノ建設改良モ御承知ノ通り資材ガ十分デ

ナイ、鐵道カ其ノ他ノ資材ガ十分ニナイカ
ラ、金ト云フヨリモ物ノ問題ニナリマシテ、
建設改良モ十分ニヤリタイト思フノデアリ
マスケレドモ、其ノ點デマア自然制約サレ
テ居ルト云フヤウナ譯デアリマス、ソレデ
アレヤコレヤデ、ドチラカト云フト制限サ
レテ居ル現狀デアリマスガ、制限ヲスルニ
モ理由ガナイコトデヤナイ、一應ノ理由ハ
アルコトダト考ヘルノデアリマス

○男爵久保田敬一君 今大臣ノ御説明デ以
テ能ク分リマシタノデスガ、私ハモウ鐵道
省ノ殆ド所謂最高幹部ト云フヤウナ人ニ話
ヲシマシテモ、今ノヤウナ御話ハ大藏省デ
モ能ク聞クコトデアッテ、御尤モダトハ思
テ居ルケレドモ、コチラノ言フコトモ亦尤
モダト云フヤウナコトヲ思ッテ居ル人ガ隨
分アルノデアリマシテ、只今御話ノ例ヘバ
税金ノ問題ノ如キモ、民間ノ鐵道デモ税金
ヲ納メテ居ル、國有鐵道デアルガ爲ニ税金
ヲ納メナイカラシテ、其ノ分ダケハ出シテ
宜イダラウト云フヤウナ大藏省ノ御話ガア
ルサウデアリマスガ、是ハ矢張り先程監督
局長ナドカラ説明ヲ伺ヒマシタヤウニ、賃
率ニシテモ地方鐵道ノ二分ノ一以下ノ賃率
デヤツテ居ル、改良工事トカ、建設工事ト
カ、殆ド民間ノ鐵道ニ比シテハ比較ニナラ
ヌ程良イ仕事ヲヤツテ居ルノデアリマスガ
ラシテ、是ハマア稅ト云フ方カラ差引イテ
モ宜イデヤナイカト云フヤウナコトヲ考ヘ
テ居ル人モアルノデアリマス、ソレカラモ
ウ一ツ臨時軍事費ハ方々ノ持ち寄りデア
ルカラ、方々ノ特別會計カラ出シタノデア
ルカラ、鐵道カラモ出サナケレバ義理ガ惡
イ……義理ガ惡イト云フ言葉ハナンデア
リマスガ、出スノガ穩當ダト云フ御考モアルカ

知レスデセウガ、之ニ對シテハ鐵道省ノ、
私ガ聞イテ居ル所ノ或幹部ノ人ナドノ申シ
マスニハ、ソレハ臨時軍事費ハ五十億ト
カ、百億トカ云フ大シタ金デアアルノデア
リマス、鐵道省カラシテ五千萬トカ六千萬
トカノ金ヲ持つテ行ツテモ、其ノ影響ハ大シ
コタエナイ、所ガ五千萬、六千萬ノ金ヲ鐵
道ガ若シ使ヒマシテ、サウシテ出來ルコト
ナラバ、人件費ニデモ使ッテ貰ヒタイケレ
ドモ、サウデナイトシテモ、例ヘバ之ヲ海陸
連絡ノ改良ニデモ使ヒマスナラバ、非常ニ
有效ナ仕事ガ出來テ、五千萬圓、六千萬圓
當ニ出來ルヤウナ仕事モアル、ソレデ以テ
海陸連絡デモヤレバ、ソレガ爲ニ日支事變
ノ直接ノ影響カラ言ヒマシテモ、却テ臨時
軍事費ニ繰入レルヨリモ國ノ爲ニナルコト
ガ明カデアアルト云フコトヲ考ヘテ居ル人モ
アルノデアリマス、義理附合ヒト云ッテハ惡
イカモ知レマセスケレドモ、他ノ特別會計
モ出スノダカラ鐵道會計モ出スノデアアルト
云フヤウナ世間並ミノ考デナシニ、寧ロ世
間カラドウ云フ眼デ見ラレヤウトモ、鐵道
ハ自分ノ立場カラ六千萬圓ナリ五千萬圓ナ
リノ金ヲ使ッテ、サウシテ臨時軍事費ニ繰入
レルヨリモツト立派ニ御國ノ爲ニ御奉公ガ
出來ルノダト云フコトヲ考ヘテ居ル人ガ多
イノデアリマス、只今ノヤウニ財政通ノ鐵
道大臣ガ仰シヤルコトデアリマスカラシテ、
私ハソレヲ御尤モト思ヒマスガ、鐵道ノ中
ノ者ニ對シテモサウ云フコトガ明カニ分ル
ヤウニ、能ク納得スルヤウニ、財政ニ明イ
所ノ大臣カラ御話ガアリマシタナラバ非常
ニ宜イト思ヒマス、ドウモ鐵道省ノ者ハ益
金繰入ニ付テ或不満ヲ持つテ居ルト云フコ
トヲ非常ニ私ハ心配シテ居ル次第デアリマ

ス

○國務大臣(小川郷太郎君) 今久保田男爵
ノ御話ハ御尤モト思ヒマスガ、ドウモ此ノ
鐵道會計ノコトカラ立脚シテ議論ヲ立テ
ノト、ソレカラ日本ノ財政全體カラ見テ議
論ヲ立テルノト二様アルト思フノデアリマ
ス、ソレデ今片方ニ繰入レテ片方ニ公債ヲ
起スト云フコトハ、是ハ一般財政全體カラ
見テ來タコトダト御承知願ヒタイト思ヒマ
ス、日本ニハ特別會計ガ多過ギルノデス、
財政ハモト一ツナンデスカラ、總テノ收入
ハ國庫ニ、總テノ支出ハ國庫カラ出ルノデ
スカラ豫算統一主義ト云フコトガ本當ナン
デス、併シ色々ナ仕事ヲ經營シテ行ケバ、
其處ニ特別ニ會計ヲ立テ、モ宜イデヤナイ
カ、或ハ外地ハ又特別ニ會計ヲ立テ、モ宜
イデヤナイカ、或ハ文部ノ仕事タル大學ナ
ラ大學ハ特別ノ會計ヲ立テラ宜イデヤナ
イカト云フヤウナ譯デ、ドウモ特別會計ガ
林立シテ居ルヤウナ日本ノ現在デアリマス、
是ハ良イカ惡イカト申シマス、實ハ理想
カラ云ヘバ遠ザカッテ居ルノデハナイカト
思ヒマスケレドモ、事實已ムヲ得ザル結果
カラ斯ウナツテ居ッタノデス、デ假ニ一般會
計ガ一ツダトシマスドドウ云フ風ニナルカ
ト云フト、軍事費ヲ支辨スルニ當ッテ一ツ
ハ借金、一ツハ國民ノ懷カラ出タモノ、斯
ウシマスト外地モ内地モナイ、例ヘバ稅ノ
方カラ來ルモノ、ソレカラ稅以外デ民間ノ
仕事ト似タヤウナモノヲ國家ガシテ居ル、
サウ云フ歲入ノ方カラモ亦取上ゲテ、サウ
シテ軍事費ヲ辨ズルト云フコトニナルノデ
アラウト思フノデアリマス、ソレハ一ツニ
ハ公債政策カラ言ヒマス、餘リ大キナ公
債ガ出サレテ、近頃申シテ居リマスヤウニ

能ク公債ガ消化セラレヌデ、日本銀行券ガ非常ニ澤山ニ出テ來テ、所謂惡性「インフレーション」ガ出ル、斯ウ云フ考カラ云ヒマス、其ノ臨時軍事費ヲ支辨スル爲ニ大變ナ公債ヲ發行スルノニ對シテ、民間ノ資金ヲ回收スルトカ、購買力ノ吸收ト云フヤウナ言葉ニモ現レテ居リマスガ、稅ヲ取立テルコトモ一ツ、ソレカラ事業ヲヤツテ居ル方面カラモ少シ出サセルンダ、斯ウ云フコトニナルダラウト思フノデス、處デソコガタツタ一ツノ會計デアレバ稅モ取上ゲルガ、又多少營業的ナコトデヤツテ居ル方カラモ金ヲ取ツテ、サウシテ軍事費ノ支辨ヲヤル、デマア殘リハ借金デ行ク、斯ウ云フ風ニナルンデヤナイカト思フノデス、ソレヲ特別會計ガ林立シテ居ル所デ割當テ見レバ、現在ノ一般會計ガ出スモノト、ソレカラ各特別會計ガ又出スモノト分レルノデアリマシテ、臨時軍事費支辨ト云フ大キナ財政政策カラ見テ、矢張り歸著スル所ハ同ジコトナンデヤナイカト思フノデアリマス、其ノ手續ノ上デ特別會計ガ林立シテ居ルモノデスカラ、繰入レルト云フヤウナコトガ起ルノデアリマシテ、マア財政ノ賄ヒ方、臨時軍事費支辨ト云フコトニ付テノ賄ヒ方ト云フ大方針ハ大抵同ジヤウナモノデアツテ、ソレヲ手續上繰入レルトカ、何トカ云フヤウナコトニナツテ居ルンデヤナイカ、サウデナケレバ是ハ意味ヲ成サスコトデアルト考ヘルノデアリマス、ソレガ一般會計ノ方カラ見テ譯デアリマス、久保田男爵ノ御指摘ニナリマシタ五千萬圓カ六千萬圓ノモノヲ鐵道ノ方ヘ用ヒレバ、モット繰入ヨリハ有效デハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマス、是モ御尤モダト思フノデス、サウシマス、各特別會

計モ今日サウ云フコトハ皆言ヘルモノモアラウト思ヒマス、軍事費ノ方ヘ支辨セヌデ、モット自分ノ所デ金ヲ使ハシテ呉レ、バ有效的施設ニナルト云フ御議論ハ立ツト思ヒマスケレドモ、併シ軍事費ヲ支辨スルト云フコトニモ非常ニ意味ヲ置イテ居ル譯デス、目下ハ非常ナル出來事デアリマスガ、是ハ今日ノ出來事ダケデヤナイ、將來ノ日本ノ國民ニ影響ヲ及ス大變ナ出來事デアルカラ、現在ノ人間、現在ノ仕事ヲシテ居ル者ガ其ノ幾部分ヲ背負ツテ行クト云フコトガ、斯ウ云フコトカラ出デ居ルンダト思フノデアリマス、ドツチノ方ガモット有效カト云フコトニナレバ、是ハ見様ニ依ッテ色々ナ議論ガ立ツト思ヒマスガ、今日ノ建前ハ臨時軍事費ヲ出スノハ矢張り是モ相當效用ガアルモノダ、斯ウ云フ考ヘ方ニ外ナラヌト思ヒマス、大陸ノ連絡ノヤウナ所ニ金ヲ使フコトガ必要ダト云フコトハ、私ハ痛切ニ感ズル譯デアリマスカラ、今度ノ豫算ノ中ニモ特ニ大陸トノ連絡、ソレカラ日本内地ニ於キマシテモ、水陸連絡ト云フコトニハ相當重要サヲ置キマシテ、豫算ノ中ニモ計上シテ居ル積リデアリマス、唯マア遺憾ナコトハ五千萬圓ナリ六千萬圓ナリ、多々益、仕事ヲシタイト思ヒマスケレドモ、矢張り資材ニ之ヲ制約サレテ居リマスカラ、縱シ此ノ金ヲ皆持ツテ居ツテモ資材ノ方デ、物動計畫ヤナンカデ物ヲ呉レマセヌケレバ仕事ノ出來ヌ事情モアルノデアリマス、サウ云フヤウナコトデドウモ理想的ニ行キ兼ねテ居ル所ガアリマスノデ、鐵道當局トシテ意氣地ガナインデヤナイカト云フ御批評ガゴザイマスレバ、謹シンデ其ノ御批評ヲ受ケザルヲ得ナイ譯デアリマスガ、其ノ中ニ於テモ「ベス

ト」ヲ盡シテヤラウ、斯ウ云フ氣持デヤツテ居リマスカラ、其ノ點一ツ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○中川望君 極メテ簡單ナコトデアリマスガ、大臣ノ最初ノ私設鐵道買収ニ付テノ御方針ニ付テ御話ニナリマシタ中ニ、公債政策ニ關係スルト云フコトヲ仰セニナツテ居リマスガ、此ノ公債政策ニ依ッテ何レ是ダケノモノヲ買収スルト云フコトガ決ル、地方鐵道ニ依ッテハ買収ヲ希望スルモノモアリマセウシ、又政府ニ於テ買収スルノヲ適當ト認メテ、既ニ御調査ニナツテ居ルモノモ相當アルダラウト思ヒマスガ、ソレガ本年度ハ是ダケニ限ツテアル、ソコヲ御決定ニナルニハ何カソコニ具體的ナ標準デモアルモノデゴザイマセウカ、公債政策ニ關聯スルト云フヤウナ、總額ニ依ッテドレダケ……何カサウ云フコトニ付テ御教ヲ願ヘレバ大變仕合セト存ジマス

○國務大臣(小川郷太郎君) 實ハ公債ガ本年度ニドレ位出ルカ、今チヨツト的確ニ申上ゲラレマセヌガ、追加豫算ガ何レ決定スルノデアリマスガ、本年度ハ七十五億圓位ニナルノデヤナイカト思フデ居ルノデス、是ハ實ニ驚クベキ大キナ數字デアリマス、ソレデ臨時軍事費ガ莫大デアリマシテ、是モ兎ニ角今日ノ時局ニ於テヤツテ退ケナケレバナラヌヤウナコトデアリマスシ、ソレニ應ジテ國內ニ於テ色々ナ仕事モシナケレバナリマセヌデスカラ、サウ云フ大キナ公債ヲ越スト云フコトハ已ムヲ得ヌト思フノデアリマス、鐵道ノ買収ハ公債ヲ交付スルト云フコトニナリマセウカラ、一般ノ市場カラ募集スルト云フコトデハゴザイマセヌケレドモ、併シナガラ其ノ額ガ多ケレバ多イ程

公債證券ト云フモノガ氾濫スル譯デアリマシテ、ソレガ大藏省ノ財政政策カラ言ヘバ困ルコトニナルノデ、七十五億ニ對シテハ一億ヤツテモ大シクモノデハナイト言ヘバソレハ其ノ議論モ立チマセウガ、併シ此ノ際ハ戰爭モシテ居ルシ、國家危急ノ方ニ公債ハ使ツテ、アトハ寛ニシテ呉レト云フ建前デ一應理窟ガ立ツ譯デアリマスカラ、大藏省ノ財政政策トシテハ、公債ヲ交付スルノデモ御免蒙リタイト云フ考ヘ方ダト思ヒマス、ソレデ鐵道省トシテハ、マアソレデモ一ツ公債ヲ交付シテ私設鐵道ヲ買収シヨウ、斯ウ云フ考ヘ方ガ出テ來ル譯デアリマス、ソレデ今ノ生産力擴充トカ、軍事上等カラ大陸ヲ連絡シテ行クト云フヤウナコトハ今日ノ時局ニ緊切ナルモノデアルカラシテ、政府ガ臨時軍事費ヲ辨ジ、其ノ他ノ色色ナ事業ヲスルノト同ジヤウナコトデアルカラ、サウ公債政策バカリ言ハナイデ、私設鐵道ノ買収モ認メロ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、ソコデ公債政策ト私設鐵道買収ト云フモノヲ、ドウ云フ程度デ調和サスカト云フ問題デアリマス、是ガ的確ナル……何處ノ數字ガ何處デ宜イカト、斯ウ云フコトハ的確ナ標準ト云フモノハアリマセヌケレドモ、大藏省トノ間ニ相談ノ出來ル程度デヤツテ居ル所ニ、二千五六百萬圓カ、三千萬圓足ラズノモノナラバ目ヲ瞞ツデモ、大藏省ハ一ツ此ノ私設鐵道買収ト云フ仕事ヲ認メテ呉レロ、斯ウ云フヤウナ筋合ノモノデアリマス、是ガ五千萬圓デモ構ハヌデヤナイカ、六千萬圓デモ構ハヌデヤナイカト云ヘバ、ソレモ一ツノ理窟デス、其處ハ何處デ手ヲ打ツカト云フコトニ外ナラヌ

ノデアリマシテ、我々今日ノ情勢デ努力シテ結果ガサウ云フモノニナツタ、斯ウ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○中川望君 サウスルト大體買收ノ公債ヲ御決メニナル際ニハ、豫メ大藏省ノ方ト御協議ノ上ニ、略、是程ノ額位ト云フ所ノ御考ヲ以テ、御決メニナルト云フコトニナルノデゴザイマセウカ

○國務大臣(小川郷太郎君) サウデス、其ノ通りデス、モット澤山買收シヨウカトモ思ッテ、腹案モ持ッテ居ッタノデスケレドモ、色々各方面ノ情勢ニ鑑ミマシテ、此ノ程度ニシタ譯デアリマス

○委員長(子爵秋田重季君) 他ニ御質疑アリマセスカ、御質疑ガナケレバ私一ツ北海道ノ政府委員ニ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ大正九年法律第五十六號中改正法律案ノコトデアリマスルガ、此處ニ參考トシテ戴イタ資料ノ所ニ、大正九年ノ八月ニ制定シ、ソレカラ二回目ハ大正十三年、昭和二年、昭和十二年、ソレカラ今回ノ改正ニナツテ居リマスガ、是ハ際限ガナイト私ハ思フノデス、勿論北海道ノ鐵道及軌道ハ、北海道開發ノ目的カラ作ラレタモノデアリマスルカラ、サウ成績ヲ擧ゲルト云フコトハ、望マレナイコトハ勿論デアリマスルケレドモ、併シ此ノ法律ノ改正ト云フモノハ、今回デ是デ五年ノ延長デアリマス、將來又改正又改正ト、是ハ殆ド際限ガナイデヤナイカト私ハ想像スルノデアリマス、ソレデ折角開發ノ爲ノ鐵道デアリナガラ、ソレダケノ開發ガ出來テ居ラナイデヤナイカト云フコトヲ私ハ考ヘ及ブノデアリマス、デアリマスルカラシテ、何等カ開發ト云フコトニ對シテ、折角鐵道ノ補助ノ延長ヲサレ

ナラバ、開發ソレ自體ニ對スル根本的ノ考ヘ方ヲ少シ變ヘテ行カナクチャナラナイデヤナイカト、是ハ少シ話ガ横道ニ外レルヤウデアリマスケレドモ、補助ト云フコトニ對シテ、ソコ迄私ハ考ヘテ行カナクチャナラナイデヤナイカト思フデス、其ノ點ニ付テ御考ヲ伺ヒタイト思フデス、是ハ際限ガナク、又五年經テバ又五年ノ延長ニ改正スルト云フコトニ必ズナツテ來ルト私ハ思フデス、デアリマスルカラシテ此ノ法律ト云フモノハ何處迄續クカ分ラナイト云フヤウナ結果ニ立到ルノデハナイカト思フノデアリマスルカラ、其ノ點ニ付テノ根本的ノ御考ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(鈴木清藏君) 只今北海道拓殖鐵道及ビ軌道補助ノ年限ニ付キマシテ御質問ガアリマシタ、期間延長ヲ繰返シテ居ッテ、サウシテ先ノ見透シガ付カナイデヤナイカト云フヤウナ御質問デゴザイマシタ、私共現在考ヘテ居リマスル所、又將來ノ見透シニ關シテ申上ゲマスルナラバ、今度五箇年延長ラシテ戴クナラバ、或程度ハ利益ヲ擧ゲ得ル會社ガ多クナルガラウト云フ風ナ見透シデゴザイマス、十五社ノ中二三ヲ除キマシテ、大體二分乃至三分位ノ利益ハ出テ來ルト云フ風ニモ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ御話ガゴザイマシタヤウニ、開發ガ遅レテ居ル爲ニ軌道ノ成績ガ擧ラナイノデハナイカト云フ御話ハ、誠ニ御同感デゴザイマシテ、私共モ全クサウダト思ッテ居リマス、此ノ北海道全般ノ開發ニ付キマシテハ、國ニ於キマシテ拓殖費ヲ以チマシテ、之ヲ開發シテ參ッテ居ルノデアリマス、最近ニ於キマシテハ北海道開發ニ關シマスル綜合計畫ヲ立テタイト考ヘマシテ、北海道開發ノ綜合

委員會ヲ作リマシテ、此ノ委員會ニ於キマシテ、各部門ニ於キマシテ研究致シマシテ、研究ノ出來マシタ事項カラ漸次、之ヲ實行致シマシテ、一日モ早く北海道ノ開發ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス、現ニ本年度ノ拓殖費ノ豫算ニ於キマシテモ、森林ニ關シマスル綜合計畫ノ部門ノ一部分、或ハ農業方面ニ關シマスル綜合委員會ノ答申ノ或一部分等ハ豫算竝ニ豫算外ニ於キマシテ著々實行中デゴザイマス、此ノ計畫ニ依ッテ參リマスルナラバ、從來ノ速度ヨリモ大分早く開發サレル機運ニ向ッテ居ルト考ヘル次第デゴザイマス、何分植民地ノ開發ハ單ニ北海道ト云ハズ、臺灣或ハ朝鮮等ニ於キマシテモ、補助年限ガ繰返サレテ延ビテ居ルヤウナ狀態デ、誠ニ私共ト致シマシテモ遺憾ニ感ジテ居ル次第デゴザイマス

○委員長(子爵秋田重季君) 御考ハ能ク承ルコトガ出來ルノデアリマスルガ、今迄度ノ年限ノ延長ニナツテ居リマシテ、私モドノ時ダカノ矢張り委員ニ當ツコトガアルノデゴザイマスルガ、矢張り其ノ時ノ政府委員ノ方ノ御話ハ、只今ノ御話ト同ジヤウデ、五年先ニハ大抵見透シガ付クト云フヤウナ御話デアッタノデアリマスケレドモ、ソレヲ始終繰返シテ居ルヤウナ狀況ナノデアリマス、併シ先程、今モ御話ガアリマシタ通りニ、北海道全體ノ拓殖ノ成績ト云フコトト、最モ關聯シテ居ルノデアリマスルカラシテ、其ノ根本ニ觸レナケレバ、ナンボ補助ノ年限ヲ延長シタ所デ、同ジ結果ニナルノデアリマスルカラシテ、ドウゾ其ノ點ヲ深く御注意下サレマシテ、今ノ御話ノ通りノヤウナ結果ヲ得ラレルヤウニ、私希望ヲ述べテ私ノ質問ヲ終リマス、他ニ御質

問ゴザイマセスケレバ、御質疑ハ是デ止メマシテ、只今カラ討論ニ移リマス

○男爵久保田敬一君 此ノ四案ニ付テ全部賛成ノ意ヲ表シマス、此ノ際一言申上ゲテ置キタイノハ、留萌鐵道及新瀉臨港鐵道ヲ御買收ニナリマスノハ、海陸連絡ノ鐵道ヲ買收ニナルノデアリマスカラ、此ノ海陸連絡ノ設備ト云フコトニ付テハ、買收ニナリマシテ國有ニナリマシタナラバ、殊ニ注意ヲ拂ッテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ折角地方鐵道デアッタノヲ買收致シマシテモ、是ガ連絡ノ設備ガヨク出來ナケレバ其ノ效力ハ十分ニ發揮出來ナイト思フノデアリマス、尙此ノ設備ノミナラズ、港ニ於ケル所ノ事務ノ扱ヒ方ニ付キマシテ殊ニ注意ヲ拂ッテ、鐵道省アタリガ主トナツテ改良ヲ加ヘテ戴キタイト思ヒマス、港ノ施設ニ付キマシテハ、先程鐵道大臣カラ御話ノアリマシタ所ノ資金ノ關係デアルトカ、資材ノ關係デアルトカ云フコトデ、ナカノ出來ニクイコトト思ヒマスルガ、此ノ事務ノ取扱ト云フコトハ港ニ關係スル所ノ人達ノ心掛ニ依ッテ、即座ニデモ改良ガ出來ルモノデアリマス、鐵道省以外ノコトヲ申シテ恐レ入リマスガ、例ヘバ大藏省ノ稅關デアルトカ、或ハ商工省ノ關係デアルトカ云フ處デ、只今其ノ人員ヲ増サズ、又設備ニ何等ノ變更ヲ加ヘナイデモ、其ノ當務者ノ心掛ニ依ッテ港ノ事務ヲ改良シ、ソレニ依ッテ港ニ關スル所ノ運輸ヲ圓滑ニスル途ガ多アルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ各省トモ御打合せノ上、只今色々港ノ關係ニ付テハ、非常ニ複雑シタ事情ガアルサウデアリマスカラシテ、ソレ等ヲ打ッテ一丸トシテ、港ノ效力ヲ十分ニ發揮

間ゴザイマセスケレバ、御質疑ハ是デ止メマシテ、只今カラ討論ニ移リマス

○男爵久保田敬一君 此ノ四案ニ付テ全部賛成ノ意ヲ表シマス、此ノ際一言申上ゲテ置キタイノハ、留萌鐵道及新瀉臨港鐵道ヲ御買收ニナリマスノハ、海陸連絡ノ鐵道ヲ買收ニナルノデアリマスカラ、此ノ海陸連絡ノ設備ト云フコトニ付テハ、買收ニナリマシテ國有ニナリマシタナラバ、殊ニ注意ヲ拂ッテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ折角地方鐵道デアッタノヲ買收致シマシテモ、是ガ連絡ノ設備ガヨク出來ナケレバ其ノ效力ハ十分ニ發揮出來ナイト思フノデアリマス、尙此ノ設備ノミナラズ、港ニ於ケル所ノ事務ノ扱ヒ方ニ付キマシテ殊ニ注意ヲ拂ッテ、鐵道省アタリガ主トナツテ改良ヲ加ヘテ戴キタイト思ヒマス、港ノ施設ニ付キマシテハ、先程鐵道大臣カラ御話ノアリマシタ所ノ資金ノ關係デアルトカ、資材ノ關係デアルトカ云フコトデ、ナカノ出來ニクイコトト思ヒマスルガ、此ノ事務ノ取扱ト云フコトハ港ニ關係スル所ノ人達ノ心掛ニ依ッテ、即座ニデモ改良ガ出來ルモノデアリマス、鐵道省以外ノコトヲ申シテ恐レ入リマスガ、例ヘバ大藏省ノ稅關デアルトカ、或ハ商工省ノ關係デアルトカ云フ處デ、只今其ノ人員ヲ増サズ、又設備ニ何等ノ變更ヲ加ヘナイデモ、其ノ當務者ノ心掛ニ依ッテ港ノ事務ヲ改良シ、ソレニ依ッテ港ニ關スル所ノ運輸ヲ圓滑ニスル途ガ多アルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ各省トモ御打合せノ上、只今色々港ノ關係ニ付テハ、非常ニ複雑シタ事情ガアルサウデアリマスカラシテ、ソレ等ヲ打ッテ一丸トシテ、港ノ效力ヲ十分ニ發揮

間ゴザイマセスケレバ、御質疑ハ是デ止メマシテ、只今カラ討論ニ移リマス

○男爵久保田敬一君 此ノ四案ニ付テ全部賛成ノ意ヲ表シマス、此ノ際一言申上ゲテ置キタイノハ、留萌鐵道及新瀉臨港鐵道ヲ御買收ニナリマスノハ、海陸連絡ノ鐵道ヲ買收ニナルノデアリマスカラ、此ノ海陸連絡ノ設備ト云フコトニ付テハ、買收ニナリマシテ國有ニナリマシタナラバ、殊ニ注意ヲ拂ッテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ折角地方鐵道デアッタノヲ買收致シマシテモ、是ガ連絡ノ設備ガヨク出來ナケレバ其ノ效力ハ十分ニ發揮出來ナイト思フノデアリマス、尙此ノ設備ノミナラズ、港ニ於ケル所ノ事務ノ扱ヒ方ニ付キマシテ殊ニ注意ヲ拂ッテ、鐵道省アタリガ主トナツテ改良ヲ加ヘテ戴キタイト思ヒマス、港ノ施設ニ付キマシテハ、先程鐵道大臣カラ御話ノアリマシタ所ノ資金ノ關係デアルトカ、資材ノ關係デアルトカ云フコトデ、ナカノ出來ニクイコトト思ヒマスルガ、此ノ事務ノ取扱ト云フコトハ港ニ關係スル所ノ人達ノ心掛ニ依ッテ、即座ニデモ改良ガ出來ルモノデアリマス、鐵道省以外ノコトヲ申シテ恐レ入リマスガ、例ヘバ大藏省ノ稅關デアルトカ、或ハ商工省ノ關係デアルトカ云フ處デ、只今其ノ人員ヲ増サズ、又設備ニ何等ノ變更ヲ加ヘナイデモ、其ノ當務者ノ心掛ニ依ッテ港ノ事務ヲ改良シ、ソレニ依ッテ港ニ關スル所ノ運輸ヲ圓滑ニスル途ガ多アルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ各省トモ御打合せノ上、只今色々港ノ關係ニ付テハ、非常ニ複雑シタ事情ガアルサウデアリマスカラシテ、ソレ等ヲ打ッテ一丸トシテ、港ノ效力ヲ十分ニ發揮

間ゴザイマセスケレバ、御質疑ハ是デ止メマシテ、只今カラ討論ニ移リマス

○男爵久保田敬一君 此ノ四案ニ付テ全部賛成ノ意ヲ表シマス、此ノ際一言申上ゲテ置キタイノハ、留萌鐵道及新瀉臨港鐵道ヲ御買收ニナリマスノハ、海陸連絡ノ鐵道ヲ買收ニナルノデアリマスカラ、此ノ海陸連絡ノ設備ト云フコトニ付テハ、買收ニナリマシテ國有ニナリマシタナラバ、殊ニ注意ヲ拂ッテ戴キタイト思ヒマス、ソレハ折角地方鐵道デアッタノヲ買收致シマシテモ、是ガ連絡ノ設備ガヨク出來ナケレバ其ノ效力ハ十分ニ發揮出來ナイト思フノデアリマス、尙此ノ設備ノミナラズ、港ニ於ケル所ノ事務ノ扱ヒ方ニ付キマシテ殊ニ注意ヲ拂ッテ、鐵道省アタリガ主トナツテ改良ヲ加ヘテ戴キタイト思ヒマス、港ノ施設ニ付キマシテハ、先程鐵道大臣カラ御話ノアリマシタ所ノ資金ノ關係デアルトカ、資材ノ關係デアルトカ云フコトデ、ナカノ出來ニクイコトト思ヒマスルガ、此ノ事務ノ取扱ト云フコトハ港ニ關係スル所ノ人達ノ心掛ニ依ッテ、即座ニデモ改良ガ出來ルモノデアリマス、鐵道省以外ノコトヲ申シテ恐レ入リマスガ、例ヘバ大藏省ノ稅關デアルトカ、或ハ商工省ノ關係デアルトカ云フ處デ、只今其ノ人員ヲ増サズ、又設備ニ何等ノ變更ヲ加ヘナイデモ、其ノ當務者ノ心掛ニ依ッテ港ノ事務ヲ改良シ、ソレニ依ッテ港ニ關スル所ノ運輸ヲ圓滑ニスル途ガ多アルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ各省トモ御打合せノ上、只今色々港ノ關係ニ付テハ、非常ニ複雑シタ事情ガアルサウデアリマスカラシテ、ソレ等ヲ打ッテ一丸トシテ、港ノ效力ヲ十分ニ發揮

サセルヤウニシテ戴キタイモノダト思ヒマス、ソレカラ此ノ軌道補償ノコトニ付キマシテハ、軌道ニ對スル所ノ補償ノ外ニ、鐵道省ガ省營自動車ヲ地方鐵道及軌道ニ接近又ハ並行シテ開業シタ場合ニ、地方鐵道及軌道ニ對スル補償ノ規定ガナイ、サウシテソレガ爲ニ地方鐵道及軌道ニ於テモ困ッテ居ルシ、鐵道省ニ於テモ非常ニ不便ヲ感ジテ居ルト云フ事實ガアリマス、是ハ毎年ノ議會デ問題ニナッテ、鐵道局ハ其ノ度ニ十分考究ノ上、其ノ補償ノ規定ヲ作ルト云フコトヲ明言サレテ居ルノデアリマスケレドモ、今日ニ至ッテモマダ出來ナイ、是ハ隨分困難ナ技術上ノ問題モアルヤウデアリマスガ、鐵道省ニ於テモ是ハ非常ニ不便ヲ感ジテ、是ガ出來レバ大イニ便利ニナルト云フ點モ多クアルノデアリマスカラ、此ノコトニ付テハ尙十分ニ御研究ニナルノモ結構デアルケレドモ、成ルベク早クサウ云フ規定ノ出來マヤウニ御盡力アラムコトヲ希望致シマス、ソレカラ大キナ地方鐵道ノ買収ニ關シマシテハ、先程カラ御話ガアリマシタヤウニ、色々ナ外ノ鐵道ノ買収ノ問題モアルト思ヒマス、ソレニ關シテハ公債財源ノ關係トカ、色々困難ナル事情モアツテ、一概ニ買収モ出來ナイカト思ヒマスガ、先程頂戴致シマシタ表ニ依ッテ明瞭ナル如ク、地方鐵道ガ買収ナリ其ノ他ノ方法ニ依ッテ、鐵道省並ミノ賃率等ヲ適用スルコトガ出來ルヤウニナレバ、ソレガ地方ニ及ス所ノ影響ハ非常ニ大デアリマスカラシテ、ソレ等ノ點ニ付テモ十分ソレヲ實現サセルヤウナ御考ヲ以テ御考究アラムコトヲ希望致シマス、ソレ等ノ希望ヲ添ヘテ私ハ此ノ四案ニ賛成致シマス

○委員長(子爵秋田重季君) 他ニ御發言アリマセヌカ、御發言ガナケレバ此ノ四案ノ採決ヲ致シタイト思ヒマス、四案共原案通り可決スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵秋田重季君) 御異議ナイモノト認メマシテ四案ハ原案通り可決確定ト云フコトニ決定致シマシタ、ソレデハ本特別委員會ハ是ニテ散會致シマス

午後三時十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵秋田 重季君

副委員長 男爵久保田敬一君

委員

子爵京極 高修君

中川 望君

橋本辰二郎君

大西虎之介君

國務大臣

鐵道大臣 小川郷太郎君

政府委員

北海道廳部長 鈴木 脩藏君

鐵道次官 鈴木 清秀君

鐵道省監督局長 大山 秀雄君

鐵道省運輸局長 長崎惣之助君

鐵道省建設局長 倉田 玄二君

鐵道省工務局長 阿曾沼 均君

鐵道省電氣局長 魚住 朝治君

鐵道省需品局長 堀木 鎌三君

昭和十六年二月十二日印刷

昭和十六年二月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局